

東大野球部 メールマガジン Vol.227

ごあいさつ

吐く息も白くなり、冬の近づきを感じております。皆様いかがお過ごしでしょうか。

10月26,27日に行われた秋季リーグ戦最終カード、対法政大学戦は攻守ともに底力を見せましたが、あと一步及ばず敗戦いたしました。今シーズンも最後まで温かいご声援、誠にありがとうございました。

また、リーグ戦終了後には秋季フレッシュトーナメントが行われました。残念ながら勝利をつかむことはできず6位に終わりましたが、神宮初ヒットを決めた選手も多く、新チームの始動に弾みをつける試合となりました。来季に向けて、部員一同勝利を目指しより一層気を引き締めて頑張っています。

今後とも東大野球部をどうぞよろしく願いいたします。

今後の日程

〈令和元年度 秋季オープン戦〉

11月23日 12:00 vs 静岡東高校 @静岡東高 G

14:00 vs 藤枝東高校 @静岡東高 G

〈令和元年度 オータムフレッシュリーグ〉

@草薙球場

11月24日 11:30 vs 明治大学(B)

14:30 vs 静岡高校(B)

今回の特集

「フレッシュトーナメントで得たもの」

今回の特集は、「フレッシュトーナメントで得たもの」です。フレッシュトーナメントに出場した選手たちに試合で得たものを語ってもらいました。

田中 啓資 (2年・投手・筑波大駒場)

僕はこれまで中継ぎとしての登板が多く、法大戦での先発は大学での2回目の先発でした。先発では、同じ打者と複数回対戦するために前の打席の結果から次の打席への対応を考える必要があることや、イニングを追うにつれて相手がチームとして対応をしていくことなど、今まで実感することのなかったことの経験を得ることができました。これらから、より野球の知識を学ぶことや、基礎的な能力の向上の必要性を痛感しました。



佐々木 拓実 (2年・内野手・洛南)

僕は秋のリーグ戦でチームの戦力とはなれなかったため、フレッシュに照準を合わせ、練習を積んできました。バットを振る数を増やし、強みであるバッティングでは自分でもある程度自信を持って臨めるようになりました。しかし、いざ試合になるとなかなか普段は対戦できないようないいピッチャーの前に結果を残せず、自分の技術不足を痛感しました。この冬は今回の経験を生かし、春のリーグ戦で戦力になれるよう精一杯練習に励みたいと思います。



井澤 駿介（1年・投手・札幌南）

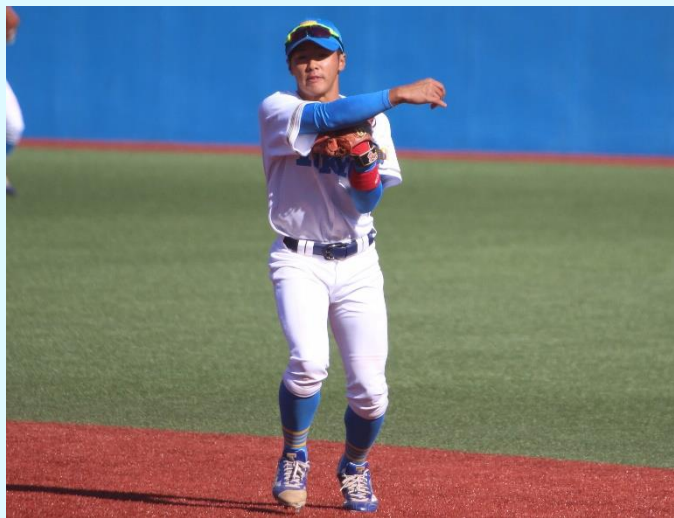
フレッシュトーナメントでは試合の雰囲気や展開に応じた準備など試合に出場した経験のみならず勝利に向かう一員として良い経験ができたと思います。1イニング投げさせていただき、自分の課題、そして他大学と同等に闘う上での必要不可欠な技術等が見つかりました。来春に向けてそれらの課題をクリアし、レベルアップできるよう練習していきたいと思います。これからも応援よろしくをお願いします。



伊藤 翔吾（1年・内野手・開成）

このフレッシュトーナメントではとても貴重な経験ができました。まずは神宮球場でのプレーです。神宮球場で実際にプレーできたことで、リーグ戦に向けて打席や守備位置からの風景などを意識しながら今後の練習に取り組むことが出来るという点でとてもいい経験になりました。次に自分の

力量を試せたことです。六大学の同世代の相手に対し通用する部分と現状での課題が明確になったので、伸ばすべきところは伸ばし、改善すべきところは改善して、選手として一回り成長した姿を来シーズンまた神宮で見せられるよう精進します。



中井 徹哉（1年・外野手・土浦一）

僕はこの秋のフレッシュトーナメントで初めて神宮球場でプレーしました。試合には残念ながら負けましたが、実際に他大学の投手相手に打席にたったことがなかった僕にとってはとてもいい経験になりました。他大学のプレーヤーと対戦し、東京六大学野球のレベルの高さを初めて実感しました。そこで自分の課題もたくさん見えてきたので、この経験を生かしこの冬にしっかりと練習して、六大学でも通用する選手になれるように頑張ります。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

今回は「来シーズンに向けて」と題して、秋季リーグ戦を終えた選手に来シーズンにかける思いを語ってもらいます。どうぞお楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしく願いいたします。

お問い合わせ先

〒113-0032

東京都文京区弥生 1-1-1 東大球場

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等ございましたら上記連絡先までご連絡ください。